

## 発刊のことば



健康で生活できることは人間にとって、最も喜ばしいことであります。しかもその健康は肉体ばかりでなく、精神面においても、経済面においても満たされなければ、本当の健康とはいえないでしょう。私どもはこのような観点にたって、健康というものを考え、微力ではありますが、努力を重ねてきたわけであります。

しかしこれも古い時代から社会環境に左右され、どこにか歪みがでてくるものであります。この歪みの是正も永い間の因習にわざわざされて、取り除くことはなかなか困難なものであります。わが国は明治時代に封建社会をはなれて、西欧文明の曙光を浴びても、その解決は容易ではなく、また戦後の社会環境の変動はある面において、その歪みはなくなってきましたが、いかに政治の力をもってしても打開できないのは、農村における健康の問題でしょう。なる程経済的の高度成長は眼をみはるものがありますが、農村の保健を考えると、数多くの点で格差のあることを否定するわけにはゆきません。

20年前、この農村の人々の健康を守るため、わが国では聞きなれない農村医学という分野が生まれてきました。この医学部門は疾病ももちろん関与していますが、農村の社会環境の上に視野を拡げた巾広い分野を受けもっています。当時数少ない人達がまいた種子も、根をどっしりおろし、幹もでき、枝葉も繁げり、今では日本の医学のうちに確固たる地歩を占めるにいたったといっても過言ではありません。

ここまでにいたる間、ある方面からの鋭い批判も受けましたが、他方この新しい分野育成のため一方ならぬ激励と援助もありました。もちろんこれは農村の保健衛生を担

当する人々のみならず、そこにある農村の人々自体もともに健康を守るための真剣な協力の現われが、現在の農村医学進展の土台となったわけであります。この具体的な事実は日本農村医学会の研究成果であり、全国的視野からみても高く評価されてよいと信じています。と同時にわが富山県においても、今まで幾多の業績が発表され、農村医学進展のため多大な寄与をもたらしていることは明かであります。しかしこれにいたしましても、個々の研究成果があっても、お互いの連繋がなければ、研究途上に種々の隘路があり、その発展が阻害されないとも限りません。

これらの人々の連帯を強めるために、また本県農村の人々の健康を守る意味においても、一つの結合が必要になってきます。昨年10月、結成されました富山県農村医学研究会も自然発生的に生まれたものの、以上の点から重大な意義をもつものであり、今後期待されるどころ大なるものがあると考えます。またこの時点において、本県の研究者が果たした役割を顧りみることも、極めて必要なことと思います。この研究会の発展のため機関誌発行もまた重要なことであり、今後この機関誌「富山県農村医学研究会誌」が研究成果の発表に大きな役割を果たすことと思います。

ここにその創刊号を発行するにいたりましたが、先に述べた本県における過去の研究業績を網羅して、私どもの歩いてきた道を想起してみることは、今後の研究の方向づけのためにも、またこれにより進むべき道への示唆として極めて有意義と信じます。

私どもはこの創刊号を起点としまして、変貌しつつある農村の医学的生態を把握し、農村の保健衛生のあらゆる方向での研究成果の情報を集積し、農村の人々の健康を守るためあらゆる努力を傾注したいと考えています。

なお創刊に当り、本研究会のため絶大な御援助と御指導を賜った県当局、農協団体、ならびに関係各位に深甚な謝意を表します。

富山県農村医学研究会会長

豊 田 文 一